

日出町告示第123号

令和5年第4回日出町議会定例会を次のとおり招集する

令和5年11月27日

日出町長 本田 博文

1 期 日 令和5年12月4日

2 場 所 日出町議会議事堂

○開会日に応招した議員

多田 利浩君	阿部 峰子君
河野 美華君	岡山 栄蔵君
豊岡 健太君	安部 徹也君
衛藤 清隆君	阿部 真二君
上野 満君	金元 正生君
川西 求一君	岩尾 幸六君
池田 淳子君	森 昭人君
熊谷 健作君	工藤 健次君

○12月6日に応招した議員

○12月7日に応招した議員

○12月22日に応招した議員

○応招しなかった議員

なし

令和5年 第4回(定例)日出町議会会議録(第1日)

令和5年12月4日(月曜日)

議事日程(第1号)

令和5年12月4日 午前10時00分開会

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 議案第65号 令和5年度日出町一般会計補正予算(第5号)について

日程第7 議案第66号 令和5年度日出町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について

日程第8 議案第67号 令和5年度日出町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

日程第9 議案第68号 令和5年度日出町水道事業会計補正予算(第1号)について

日程第10 議案第69号 令和5年度日出町下水道事業会計補正予算(第2号)について

日程第11 議案第70号 日出町職員の給与に関する条例等の一部改正について

日程第12 議案第71号 日出町国民健康保険税条例の一部改正について

日程第13 議案第72号 日出町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

日程第14 議案第73号 日出町コミュニティバス条例の廃止について

日程第15 議案第74号 公共下水道事業から生じる脱水汚泥の処理に係る事務の委託について

日程第16 同意第11号 日出町固定資産評価審査委員会委員の選任について

提案理由の説明

散会の宣告

本日の会議に付した事件

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 議案第65号 令和5年度日出町一般会計補正予算（第5号）について

日程第7 議案第66号 令和5年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

日程第8 議案第67号 令和5年度日出町介護保険特別会計補正予算（第2号）について

日程第9 議案第68号 令和5年度日出町水道事業会計補正予算（第1号）について

日程第10 議案第69号 令和5年度日出町下水道事業会計補正予算（第2号）について

日程第11 議案第70号 日出町職員の給与に関する条例等の一部改正について

日程第12 議案第71号 日出町国民健康保険税条例の一部改正について

日程第13 議案第72号 日出町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

日程第14 議案第73号 日出町コミュニティバス条例の廃止について

日程第15 議案第74号 公共下水道事業から生じる脱水汚泥の処理に係る事務の委託について

日程第16 同意第11号 日出町固定資産評価審査委員会委員の選任について

提案理由の説明

散会の宣告

出席議員（16名）

1番 多田 利浩君

2番 阿部 峰子君

3番 河野 美華君

4番 岡山 栄蔵君

5番 豊岡 健太君

6番 安部 徹也君

7番 衛藤 清隆君

8番 阿部 真二君

9番	上野 満君	10番	金元 正生君
11番	川西 求一君	12番	岩尾 幸六君
13番	池田 淳子君	14番	森 昭人君
15番	熊谷 健作君	16番	工藤 健次君

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長	山口 佳子君	次長	河野 裕治君
----	--------	----	--------

説明のため出席した者の職氏名

町長	……………	本田 博文君	副町長	……………	一丸 淳司君
教育長	……………	恒川 英志君	会計管理者兼会計課長	…	工藤 明美君
総務課長	……………	河野 匡位君	財政課長	……………	古屋秀一郎君
政策企画課長	……………	梶原 新三君	まちづくり推進課長	…	藤本 周司君
税務課長	……………	波津久 誠君	住民生活課長	……………	伊豆田政克君
介護福祉課長	……………	宇都宮 博君	子育て支援課長	……………	満石加寿美君
健康増進課長	……………	木付 達朗君	農林水産課長	……………	河野 一利君
都市建設課長	……………	須藤 淳司君	上下水道課長	……………	中山 雅広君
教育総務課長兼学校給食センター所長	…	安田 恵君	学校教育課長	……………	竹内 由佳君
社会教育課長兼町立図書館長	…	河野 英樹君	代表監査委員	……………	井上 哲治君
監査事務局長	……………	西村 浩明君	農業委員会事務局長	…	麻生 康弘君
総務課課長補佐	……………	赤野 公彦君	財政課課長補佐	……………	間部 大君

午前10時00分開会

○議長（工藤 健次君） 皆さん、おはようございます。

開会、開議の宣告

○議長（工藤 健次君） ただいまの出席議員は16名です。定足数に達していますので、令和5年第4回日出町議会定例会を開会いたします。

今期定例会に提案されています議案は、議案10件、同意1件であります。

議員各位におかれましては、慎重に御審議を賜り、適切な議決をいただくとともに、議会運営全般にわたり格別の御配慮と御協力をお願いいたします。

これより本日の会議を開きます。

会議の議事は、お手元に配付しております議事日程により行います。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（工藤 健次君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今期定例会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、3番、河野美華君、14番、森昭人君を指名します。

日程第2. 会期の決定

○議長（工藤 健次君） 日程第2、会期の決定について議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、11月27日の議会運営委員会におきまして、本日から12月22日までの19日間という案を作成しましたが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 健次君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、本日から12月22日までの19日間に決定しました。

日程第3. 諸般の報告

○議長（工藤 健次君） 日程第3、諸般の報告を行います。

まず、去る10月30日、県議会議長と市町村議会議長との意見交換会が行われましたので、その概要を御報告いたします。

大分県観光局長の渡辺修武氏による「DESTINATIONキャンペーンを契機とした観光振興について」と題した講演の後、木付親次大分県議会副議長による「議会のデジタル化の取組について」と題した情報提供がありました。その後、休憩を挟み「地域課題に対する議会の取組について」県内18市町村議会議長による意見交換が行われました。多くの市議会では議会報告会が行われている現状と少子高齢化による後継者不足の課題等について報告がありました。

続きまして、去る11月16日に開催された議員研修会について報告いたします。

大分県町村議会議長会主催で県下3町1村の議員が一堂に会して、姫島村で開催されました。講師としてジオガイドの吉田龍夫氏による「おおいた姫島ジオパーク」について説明がありました。おおいた姫島ジオパークは、姫島を中心とした海域を含む東西14キロ、南北6キロの範囲

であり「火山が生み出した神秘の島」をテーマとして、2013年に日本ジオパークに認定されたとのことでした。

続いて、11月29日、東京のNHKホールで開催された第67回町村議会議長全国大会に県内の町村議長とともに出席いたしましたので、その概要を報告いたします。

全国町村議会議長会会長の渡部孝樹氏から、地方のみならず万事の喫緊の課題である少子高齢化への対応として、将来を担う子供たちを地域で支えていく社会づくりを推し進める活動を展開していくことや、農業農村は食糧の供給や国土の保全、生態系の維持といった貴重な役割を果たしている。農業農村施策の一体的な推進による食料安全保障の確立が図れるよう要請していくこと、長期的な復興支援と災害対策の確立など、様々な取組を進めていく必要がある、といった内容の主催者挨拶がありました。

国会会期中であったため総理大臣や大臣の出席はかないませんでしたが、小里総理補佐官や渡辺総務副大臣、岸川デジタル副大臣、工藤地方創生副大臣、森山自民党総務会長、吉田全国町村会長からの祝辞に続き、公務のため出席がかなわなかった額賀衆議院議長と長浜参議院副議長から寄せられたメッセージ披露の後、臨席された43名の国会議員の紹介があり、約1,600人の町村議会関係者出席の下、第67回町村議会議長全国大会が開催されました。

議事は、はじめに「議会の機能強化及び多様な人材が参画するための環境整備」「地方創生とデジタル化のさらなる推進」など、地区要望9件を含む要望37件を満場一致で決定しました。

また、緊急かつ重要な課題解決を図る必要がある3つの案件について特別決議を行うこととし「東日本大震災からの復興、原子力発電所事故への対応及び大規模災害対策の確立を求める特別決議」「少子化対策の推進とこども・子育て政策の強化を求める特別決議」「農業・農村政策の一体的な推進による食料安全保障の確立を求める特別決議」が満場一致で決定しました。

大会終了後に行われた特別講演では、フリーキャスターで事業創造大学院大学客員教授の伊藤聡子氏による「地域から輝く日本へ～未来への選択と責任」というテーマでSDGsにおいて一番大事なのは、まずは環境であること、そして、これからの時代に求められる女性力、地域から共創で最先端モデルなど興味深い内容で充実した大会でありました。

また、行政視察も積極的に受け入れました。10月11日には岩手地区議会議長会が「ふるさと納税」について、11月7日には佐賀県みやき町議会広報研修委員会が「議会広報編集」について、11月8日に群馬県高崎市議会広報委員会が「議会だよりの編集」について、同じく8日に群馬県邑楽町議会が「共生のまちづくりの取組み」について、研修したいと日出町を訪れてくれました。

当日多忙の中、対応していただいた所管の委員会の議員各位並びに説明に協力をいただいた担当課長・担当職員にこの場を借りてお礼を申し上げます。

次に、令和5年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の概要について、同組合議会議員、安部徹也君に報告をお願いします。6番、安部徹也君。安部徹也君。

○議員（6番 安部 徹也君） 去る、11月6日に別府市議会議場で開催されました令和5年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会につきまして、その概要を報告いたします。

今期上程されました議案は、条例議案1件、決算議案1件の全2件でした。

まず、議第7号別杵速見地域広域市町村圏事務組合職員の給与に関する条例の一部改正については、新型コロナウイルス感染症が新型インフルエンザ等感染症から5類感染症に変更されたため、新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための作業に従事した職員の、特殊勤務手当の特例を廃止することに伴い、条例を改正するものであり所管の常任委員会の審査を経て、全員異議なく原案のとおり可決されました。

次に、議第8号別杵速見地域広域市町村圏事務組合一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定については、その内容につきまして、一般会計は予算現額11億4,852万2千円に対し、歳入歳出決算額はともに11億2,428万7,960円であります。

秋草葬斎場事業特別会計は、予算現額1億5,607万8千円に対し、歳入歳出決算額はともに1億5,404万6,182円であります。

藤ヶ谷清掃センター事業特別会計は、予算現額12億3,266万2千円に対し、歳入歳出決算額はともに12億2,070万4,094円であります。

介護認定審査会事業特別会計は、予算現額2,564万3千円に対し、歳入歳出決算額はともに2,424万974円であります。

また、各会計については、翌年度に繰り越す財源はなく実質収支額はゼロ円です。各常任委員会で各会計決算の関係部分の審査を経て、採決の結果、全員異議なく原案のとおり認定されました。

以上、令和5年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の報告といたします。

○議長（工藤 健次君） 次に、令和5年第2回杵築速見環境浄化組合議会定例会の概要について、同組合議会議長、金元正生君に報告をお願いします。10番、金元正生君。金元正生君。

○議員（10番 金元 正生君） 令和5年度第2回杵築速見環境浄化組合議会定例会が、去る、11月17日、日出町議会議事堂で開催されましたのでその概要について御報告いたします。

本定例会に上程された案件は議案1件、認定1件であります。

初めに、議案第4号令和5年度杵築速見環境浄化組合会計補正予算（第1号）についてであります。

補正する額は、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ164万5千円を追加し、補正後の予算の総額を歳入歳出それぞれ3億159万2千円とするものです。

歳出予算については、総務費の一般管理費のうち人件費関係が91万4千円、衛生費の清掃施設費のうち需用費の修繕料が73万1千円の増額であります。

歳入予算については、分担金及び負担金の事業費補正負担金が5万9千円の増額となり、158万6千円を予算の増額に伴う財源確保策として財政調整基金繰入金にて財源調整しております。

以上、補正予算に関する議案1件につきましては、慎重審議の結果、全会一致で可決であります。

次に、認定第1号令和4年度杵築速見環境浄化組合会計歳入歳出決算の認定についてであります。

歳入決算額2億7,407万580円に対しまして、歳出決算額は2億6,919万5,881円でありました。歳入歳出差引残額は487万4,699円の黒字となり、全額を財政調整基金に積み立てることとしております。なお、歳入の92.4%を占める市町負担金ですが、その負担割合は日出町35.7%、杵築市64.3%となっております。

そのほか、基金については、決算年度末現在高で財政調整基金積立金が2,098万5,516円、施設整備費基金積立金が4,429万5,458円となっており、公有財産である土地、建物及び物品については、変更がないとの報告がございました。

なお、決算については代表監査委員より予算執行及び決算経理ともに、適切に処理されている旨の決算審査報告を受けております。

令和4年度杵築速見環境浄化組合会計歳入歳出決算につきましても、慎重審議の結果、全会一致で認定であります。

以上、令和5年第2回杵築速見環境浄化組合議会定例会の報告といたします。

○議長（工藤 健次君） 以上で諸般の報告を終わります。

日程第4. 行政報告

○議長（工藤 健次君） 日程第4、行政報告を行います。

町長、本田博文君。町長。

○町長（本田 博文君） 皆さん、おはようございます。本日、令和5年第4回日出町議会定例会を開催するに当たり、御通知申し上げましたところ、議員の皆様には何かと御多用のところ、御出席を賜り御審議をいただきますことに対しまして厚く御礼を申し上げます。

それでは、行政報告を申し上げます。

最初に、日出町交通安全大会についてであります。

9月30日に日出中央公民館におきまして、交通安全への意識を高め交通事故を防止すること

を目的として、杵築日出警察署、大分県交通安全協会杵築日出支部、日出町交通安全推進協議会の共催により、日出町交通安全大会を開催いたしました。

コロナ禍により4年ぶりの開催となりましたが、関係者約70名の出席の下、交通安全功労者及び優良運転者の表彰・伝達を行いました。表彰・伝達式の後、講話や杵築日出警察署署員で結成された双城劇団の寸劇を通して、知識を深め、交通事故の危険性について再認識したところで。最後に、「交通ルールの遵守と交通マナーアップを常に心掛け、交通事故のない、明るく住みよい社会を築くこと」との大会宣言が採択されました。

次に、キャッシュレス決済端末の設置についてであります。

町民の利便性向上と窓口での会計業務改善を目的に、10月より税務課及び住民生活課が発行する各種証明書の交付手数料の支払いに、キャッシュレス決済が利用できるようになりました。電子マネー、クレジットカード、QRコード決済の計28種類に対応した端末を両課の窓口に設置し、幅広い年代で利用されており、アンケート結果でもよい評価をいただいております。今後も、住民サービスの向上と職員の業務効率化につながるデジタル化を推進してまいります。

次に、デマンド型公共交通についてであります。

工藤健次町議会議長、岩尾幸六総務産業常任委員会委員長、佐藤元彦大分県東部振興局長に御臨席いただき、10月2日、日出町役場前にて出発式を執り行い、運行を開始いたしました。11月末現在449名の登録があり、延べ1,035名の方に御利用いただいております。年代で見ますと80代が最も多く、ついで70代、60代となり、この3世代が全体の約9割を占めております。移動手段のない方の日常生活の足として、より多くの方々に御利用いただけるよう取り組んでまいりたいと考えております。

次に、ザビエルの道ウオーキング大会についてであります。

10月15日、晴天に恵まれ308名の方々に御参加いただきました。参加者の皆様には15キロ、10キロ、5キロの3コースそれぞれにおいて、日出町の歴史を感じ別府湾をはじめとした、すばらしい自然景観を堪能していただきました。実行委員をはじめ、御協賛、御協力いただいた皆様に感謝申し上げ、今後も参加者に喜んでいただけるような大会になるよう努めてまいります。

次に、2023ひじ産業文化まつりについてであります。

10月28日、29日、日出中央公民館を主会場に開催いたしました。屋外会場では、海鮮アラ汁やひじグルメ汁の無料配布を行ったほか、有機野菜をはじめとする新鮮な町内農産物や海産物の即売コーナーをはじめ、多くの出店をいただきました。

中央公民館ホールでは、産業・文化振興に功績のあった個人9名並びに2団体に対し、表彰を行いました。

また、今年は瀧廉太郎没後120周年に当たることから、初日は世界で活躍されているテノール歌手や打楽器演奏家をお招きし、瀧廉太郎記念音楽会を開催し、2日目には楽聖瀧廉太郎の父・吉弘への想いと題して、歴史家の加来耕三氏による記念講演会を開催いたしました。そのほか、中央体育館では、日出町文化協会会員等による芸術作品の展示などがありました。お祭りが持つ地域を活性化する力を再認識することとなりました。

次に、日出町功労者表彰式についてであります。

1月3日、工藤健次町議会議長をはじめ、多くの御来賓の御出席をいただき、日出町役場において、日出町功労者表彰式を執り行いました。今年は、地方自治、地域活動、地域医療、産業振興の各部門において、長年御活躍され、日出町発展に御貢献いただいた方々の御功績をたたえ、個人4名、1団体に対し、表彰状と記念品をお贈りいたしました。受賞された方々には、今後とも日出町のためにお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

次に、住むことに喜びを感じる日出町プロジェクト推進協議会「鹿鳴越クラブ」の設立についてであります。

地域創造連携協力に関する協定を締結している株式会社大分銀行より、地域の活性化や産業振興を図ることで、持続可能なまちづくりを実現する地域ビジョンプロジェクトの提案があり、1月21日、日出町役場において協議会の設立総会が開催されました。「半導体関連産業を中心としたものづくり企業の活性化」と「地域資源を最大限活用した稼ぐ力の増強」の2つのプロジェクトに取り組むこととしており、商工会、農協、漁協をはじめ、産官学金の連携体制を構築することで、日出町総合計画に掲げる「住むことに喜びを感じるまち」の実現に取り組んでまいります。

最後に、日出町福祉健康推進大会についてであります。

1月24日、日出中央公民館におきまして、第18回日出町福祉健康推進大会を関係者約50人の出席をいただき開催いたしました。ダイヤモンド婚や金婚を迎えられた御夫妻をお祝いするとともに、福祉分野において献身的な活動をされ地域福祉の向上、健康づくりの実践などに御尽力いただいている方々に感謝の意を表することを目的として、日出町と社会福祉協議会、老人クラブ連合会の共催で開催いたしました。今年の大会は金婚表彰の方については、慶賀訪問とさせていただきますが、ダイヤモンド婚、明るい子育て支援大賞、明るい高年賞などの表彰を行いました。

受賞された方々の益々の御健康、御活躍を祈念申し上げます。

最後に、「本大会を契機に改めて地域を見つめなおし、つながり・支え合い・安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて一層邁進する」との大会宣言が採択されました。

以上、甚だ簡単でございますが、行政報告とさせていただきます。

○議長（工藤 健次君） これで行政報告は終わりました。

地方自治法第121条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めましたので、御報告いたします。

日程第5. 委員長報告

○議長（工藤 健次君） 日程第5、委員長報告を行います。

令和5年第3回定例会において、閉会中の審査に付された所管事務調査などの結果について、報告を求めます。総務産業常任委員会委員長 岩尾幸六君。岩尾幸六君。

○総務産業常任委員長（岩尾 幸六君） おはようございます。閉会中の総務産業常任委員会の報告をいたします。

今回は、行政視察研修報告と現地調査及び所管事務調査の報告並びに、区長会との意見交換会の報告をいたします。

まず、行政視察研修についてであります。

当委員会は、令和5年10月24日から10月26日までの間、福井県大野市と岐阜県恵那市にて、SDGs未来都市計画とSDGsモデル事業についての視察研修を行いましたので、その結果を報告いたします。

まず、福井県大野市の概要です。大野市は福井県の東部に位置しており、昭和29年に2町6村が合併し、大野市が誕生いたしました。その後、2回の合併を繰り返し、全国有数の広い面積の市となり、令和6年には市制施行70周年を迎える市であります。

大野市の主な産業としては、農業、商業、観光が盛んで、観光客は県内外より年間205万人が訪れ、観光名所としては、年に数回、雲海が現れる天空の城、越前大野城や水の郷、名水の町として観光に力を入れておりました。

SDGs未来都市計画の取組としては、2030年のあるべき姿として産業・人・自然が生き生きと好循環する結のまちと定めており、様々な好機を生かして、経済・社会・環境の好循環を生み出そうとしておりました。その中でも、ほし・ひと・エコ推進事業として、経済では星空を活用した観光を取り入れ、社会では産官学連携による人づくりを行うなど、大学と連携した光の害教育などを開催しており、市を挙げた活動を行っております。

さらに大野市では、市の広報動画に夢グループの2人を起用し、市の紹介動画や企業誘致に向けた工業団地の販売編、ふるさと納税編などの動画を2人の独特なやり取りで紹介しており、とてもユニークな施策に取り組んでいました。我が町においても様々な動画で町をアピールしておりますが、誰もが興味が湧くようなユニークな動画の作成も必要ではないかとそういうふうに感じました。

次に、岐阜県恵那市の概要であります。恵那市は、岐阜県と愛知県の県境に位置する市であります。

主な景勝地としては、恵那峡と日本初のダム発電所、大井ダムがある景勝明媚な観光地が多い市であります。恵那市ではSDGsのモデル事業を展開しており、経済では廃材活用で資源の循環を行い、環境では資源の市内循環の促進を進めており、市内12か所に資源回収施設を設置。回収された資源は市内業者がリサイクルし、収益金は地域に還元、まちづくり資金として運用しております。

また、2022年には地域新電力会社、恵那電力株式会社を立ち上げ、エネルギーの地産地消によるゼロカーボンシティの実現を目指し、災害時の電力確保を強化しております。さらに、バイオエネルギーの活用として家庭から排出される食用廃油を回収し、バイオ燃料として清掃業者、廃油精製業者の車両や市内の資源ごみ収集車などに活用しております。

恵那市においては、市の将来を見据えた事業や市内循環型の事業を数多く展開しており、事業で得た収益金などは地域に還元し、まちづくり資金として地域の活性化に役立てている。

日出町においても、カーボンニュートラルやバイオエネルギーの活用などを、町挙げての事業を計画すべきだと感じました。

続きまして、当委員会は、去る11月2日、町長不在のため副町長の下、所管各課の事務調査と現地調査を行いましたので、その結果を報告いたします。

まず、現地調査は、要望書が上がった南端地区のソーラー発電所と、佐尾地区の里道の現地を調査しました。

まず、南端地区のソーラー発電所の調査は、調整池より排池される雨水が隣接する民有林に流入し、民有林の表土が削られ、雨のたびに溝が拡大を続けている状態であるとの要望があり、現地の発電所に出向きましたが現地では、要望のあった民有林内部への立入りには危険が生じるため、要望書に添付されていた写真を基に、民有林の溝の状態を確認いたしました。

次に、都市建設課に提出された佐尾地区の帆足万里の墓に隣接する里道の状態を確認しました。

この里道は、傾斜地の中央部に位置しており、上部には太陽光発電、里道には墓地が面しており、里道の下にはみかん畑と民家が存在する傾斜地であります。今回、対象の里道は、セメント舗装がされており幅1.2メートル、延長50メートルの道で、みかん畑ののり面の土が削られ、セメント舗装にひびが発生したものと推測できます。この里道では平坦な道幅は半分ほどしかなく、道幅の半分はひび割れが発生しており、決して安全な里道ではないことが分かりました。今後、雨が降ればひび割れ部より雨水が浸入し、さらにひび割れが拡大するとの懸念される箇所があります。

続いて、所管各課の事務調査です。総務課からは、日出町功労者表彰と避難訓練の報告があり

ました。

まず、令和5年度の日出町功労者表彰では、部門別の表彰者名と表彰内容についての報告があり、次に、11月5日に予定している地震・津波防災訓練についての報告があり、本年度は南海トラフ地震に伴う大津波を想定した訓練で、避難場所への避難訓練を行うことにより、津波予報が発生した際の迅速な行動ができるよう、意識づけの一環として訓練を行うとの説明がありました。

続いて、財政課からは令和4年度決算状況の説明があり、3年連続で財政調整基金・減債基金の取壊しを行うことなく黒字決済を確保できており、基金残高についても増加傾向にあり、財政調整基金残高においては12億円を上回る13億円に達したところであるが、積立金残高は県内自治体の中では最下位との説明がありました。

続いて、令和6年度の当初予算編成についての基本的な考えと基本方針及び予算編成手法やスケジュールの説明がありました。まず、基本的な考えとしては、既存事業の見直しを行い、効果が期待できる事業については積極的に財源配分を行う。住むことに喜びを感じるまちの実現に向け、子育て支援の充実や防災・減災対策など、町民目線の事業構築を行うとの説明がありました。

次に、基本方針では5つの方針を掲げ、予算編成を行っているとの説明があり、予算編成の手法としては、新年度の新規拡充事業の早期把握と事前査定についてであります。各課より要求のあった新規30事業と拡充13事業のヒアリングの結果報告あり、新規30事業のうち採択は8事業、条件付事業は6事業、財政課の査定によるものが8事業、見送りが8事業となり、拡充事業では採択は7事業、条件付は1事業、財政課の査定による事業が4事業、見送りが1事業との報告がありました。

続きまして、政策企画課からは日出町デジタル田園都市構想総合戦略の策定について、国の動向及び県の動向説明と、日出町デジタル田園都市構想総合戦略の説明の後、住民の利便性の向上を最優先に進めるための日出町職員人材育成計画の説明がありました。

続いて、まちづくり推進課からは、ふるさと寄附金とデマンド交通の現状報告があり、まず、ふるさと寄附金は9月末で3億7,948万8千円が集まり、前年度比で1億6,853万1千円の増であります。

次に、デマンド交通の経過報告がありました。10月25日までの登録者数は366名で、男性113名、女性252名、不明1名であります。

次に、利用者は103名で、男性が27名、女性が76名の利用があり、10月2日から25日までに利用された延べ人数は412名で、1日平均24名が利用されたとの報告がありました。

当初の目標としては、年間利用者数2万5千人、1日約100人の利用を想定していましたが、現状は4分の1程度の実績であるとの説明がありました。

委員より、ふるさと納税では10月から制度改正でどのような影響が考えられるかとの質問に対し、おせち料理の1,200食の減少で6千万円の減収が考えられるとの回答がありました。

デマンド交通では利用頻度が少ないが、車が運行していない時間の対象車両はどこで待機しているのか。デマンド以外の公共交通やコミュニティバスの利用状況は変化したかなどの説明があり、それぞれに回答がなされました。

次に、税務課からは、納税者の利便性の向上についての説明がありました。納税環境の改善として、地方税、共通納税システムにより納付ができる税目の追加として、個人住民税の普通徴収分と国民健康保険税の普通徴収分が、令和8年度よりeLTAXを使った納税ができるようになる見通しとの報告がありました。

次に、農林水産課からは4件の報告があり、まずは、鎮守の森プロジェクトの経過報告と、今後の日程についての報告です。このプロジェクトの正式名称は、日出町みどりの防潮堤植樹祭と決まり、日程案としては、令和6年3月23日に300名程度の規模で植樹祭を開催予定との報告がありました。

次に、第84回大分県畜産共進会（肉用牛の部）の結果報告がありました。令和5年10月21日に別府公園文化ゾーンで開催され、出品頭数は52頭。日出町からは仲尾隆正さん所有のまいか号が出品され、優秀賞を受賞されました。また、畜産功労者表彰には仲尾正志さんが表彰されたとの報告がありました。

次に、10月28日と29日に開催された、2023ひじ産業文化まつりの結果報告があり、出展ブースは42ブースで2日間の来場者数は9千人との報告がありました。

次に、第43回全国豊かな海づくり大会～おんせん県おおいた大会～の開催日程の報告がありました。開催予定は令和6年11月10日で、午前中に大分市のiichikoグランシアタで主催者挨拶などの式典が開催され、午後より別府市の別府港第4埠頭にて海上歓迎パレードや放流行事が計画されているとの報告がありました。

続いて、都市建設課より今年度10月までの発注工事の進捗状況の説明があり、工事発注30件のうち完成が11件、工事中が8件、落札3件、入札中が2件、設計中が4件との報告がありました。

最後に、上下水道課より豊岡漁港のマンホールポンプの更新工事についての報告がありました。このマンホールポンプについてはロイヤルホテル周辺から豊岡駅周辺までの広範囲にわたる汚水を豊岡港へ集めて浄化センターまで2台のポンプにて圧送しているが、2台中1台が動作していないことがわかり、現在は1台のポンプで運行を行っているが、1台での運行では不具合が発生した場合、汚水の処理ができなくなるために緊急発注を行ったとの報告がありました。工事費は715万円で、年末には完成するとの報告がありました。

続いて、上下水道の滞納に伴う給水停止の報告があり、この給水停止予告通知書は、3か月間以上滞納している対象者へ発送する通知書で、対象件数は123件で、この予告通知書の発送後も納付及び納付契約書の提出のない63件に給水停止執行通知書を発送しましたが、その後も、納付や契約書の未提出の14件に対して、給水停止を行ったとの報告がありました。

最後に、今年度町民との意見交換会の結果報告です。

11月27日、区長会との意見交換会を開催しました。その結果を報告いたします。意見交換会の前に、事前に地域の問題点や要望などを提出していただき、提出された件について意見交換を行いました。

まず、豊岡地区からは、友安川の改修と山下川砂防ダムの建設の現状について。藤原地区からは、敬老会事業の補助金や子ども会会員の減少問題、宅地開発のインフラ整備についての意見が出されました。川崎地区からは、行財政改革について、日出地区からは、下町の通学路問題、大神地区からは、県道や町道の信号機や横断歩道の改善、大神地区へ町営住宅の建設などの要望や意見が出されました。南端地区からは、ムスリム墓地建設設計の状況についてなど、町内各地より多くの意見や要望が出され、それぞれに意見交換を行いました。また、その場で回答が出せない内容や課題については、後日、文書にて回答するとの返答を行ったところあります。

以上、閉会中の総務産業常任委員会の報告とさせていただきます。

○議長（工藤 健次君） 次に、福祉文教常任委員会委員長 河野美華君。河野美華君。

○福祉文教常任委員長（河野 美華君） 閉会中の福祉文教常任委員会の報告をいたします。

当委員会は、11月1日に臼杵市に行政視察研修へ伺い、地元有機農産物を豊富に使用している給食センターと、うすき夢堆肥を製造している土づくりセンターの2か所を視察いたしました。

臼杵市は、令和3年にユネスコ食文化創造都市に登録されており、国内では2都市目の認定となっています。市では、土づくりからこだわり、栽培期間中に化学肥料や化学合成農薬などを使用していないことが確認できた圃場を、市独自の認証制度により、ほんまもん野菜と名づけて販売しています。ほんまもん野菜は、慣行栽培の野菜よりも価格は少し高めですが、市が補助金を出して購入し、給食に使用しているとのことでした。

また、臼杵市土づくりセンターは、環境保全型農業、有機農業を強く推進するため、日本で唯一行政機関が運営する堆肥製造施設であり、草木等を主原料とした腐葉土に近い完熟堆肥を生産しているとのことでした。現状では黒字にはなりにくい事業でしたが、地域住民や事業者と協調して有機農業や海洋環境保全を推進し、循環型社会の形成を図っています。

また、こだわって作られた地元農産物は、地元飲食店や各家庭、学校給食で使用され、地産地消を通じて地域や食文化の持続可能性を高めるとともに、移住者を誘致する要因にもなっていると感じました。なお、詳細につきましては配付しております報告書を御覧ください。

続きまして、当委員会は11月15日に、日出町民生委員児童委員協議会と日出町社会福祉協議会と意見交換会を実施いたしました。全国的に成り手不足という問題がある中、町内の民生・児童委員の方々は強い使命感を持ち、活動されていることを当委員会としても知ることができた貴重な機会となりました。

また、社会福祉協議会からは、住民サービスの向上につなげるためにも、雇用の問題など、大きく6点ほどの要望をいただきました。今回出された意見を取りまとめ、当委員会の要望として正式に執行部へ提出し、今後も委員会で協議する予定です。

以上、甚だ簡単ですが、閉会中の福祉文教常任委員会の報告といたします。

○議長（工藤 健次君） 次に、議会活性化特別委員会委員長 金元正生君。金元正生君。

○議会活性化特別委員長（金元 正生君） 議会活性化特別委員会は、閉会中の委員会を11月14日に開催いたしましたので、その概要を報告いたします。

報告事項は4点。最初に、前回の委員会で決定した日出町特別職報酬等審議会の設置について、私と議長で町執行部と協議をいたしました。冒頭で申しました審議会を開いた場合、議案の提出が町長になること、定数も含めた協議になれば条例改正が必要である。さらには、アンケート結果だけを材料に審議するのは非常に難しいという回答でありました。これを受けて開催した委員会では、アンケート結果から現状維持でいいのではないかと、また、全協なりで資料を示した上で、議員全員に一度意見を聞いて判断する必要がある。また、議会としてどうあるべきかを記すべきとの意見。自分たちの身分や報酬を自分たちで決めるよりも、客観的な第三者委員会に委ねたほうがいいのではなどなど多くの意見が出た中で、最終的に私のほうから、日出町の現状と他議会の状況を調査し、今定例会開期中の委員会にて複数案を提示して方向性を決定する予定であります。

次に、町民アンケートについては、来年1月末発行の議会だよりに掲載するよう、議会報編集特別委員会と協議をすることや、ホームページへの掲載、その方法、また、書き込み等への対応の方向性を出して、今後の委員会もしくは全協で確認することに決定したところであります。

オンライン委員会の開催については、既に議会運営委員会では実施済みであります。今年度中に全議員が実施できるよう、総務産業・福祉文教の常任委員会での実施提案があり、用途は来年2月の閉会中の委員会に決定したところであります。

最後に、DXチームが掲げた議員出前講座の実施、SNSによる発信については、引き続き、実施に向けて進めていくことを確認しております。

以上が報告であります。

○議長（工藤 健次君） 次に、議会報編集特別委員会委員長 阿部真二君。阿部真二君。

○議会報編集特別委員長（阿部 真二君） 議会報編集特別委員会の御報告を申し上げます。

議会報編集特別委員会は、10月10日、17日の2日間にわたり、第3回定例会の内容を議

会報第134号として編集作業を行い、10月25日に各区長に配布を行ったところです。

次に、9月26日に東京都千代田区大手町1丁目3の7、日経ホールにて開催された町村議会広報研修会に参加させていただきましたので、その内容について御報告いたします。

まず、広報担当者が知っておきたい法律知識として、当たり前の話ではありましたが、特に、気をつけなければならないこととして人物の写真を利用する場合は、利用対応、利用目的について承諾を得なければならない。フリー素材を利用する場合は、何がフリーなのか確認が必要である。キャッチコピー、新聞記事、見出しなどの活用は承諾を得なければならないなど法的な知識について学びました。

また、なるほどそうか知ってよかった、読者を夢中にさせる広報紙づくり、基礎の基礎として必要なのは伝える力であり優先すべきは住民ファースト。できるだけ簡潔にまとめ視覚化する。ユーザー心理を揺り動かす紙面にする、注目度を高める見出しにするなど基本的なことを学びました。

また、ぱっと伝わる広報紙にやっちはいけないデザイン講座として、ページ構成に主役、括弧、簡潔なタイトル、強いキャッチコピー、質の高いイメージ画像を作る、ページ内レイアウトにめり張りをつける、できるだけ文字数は減らし余白をしっかりと確保する、余白の間隔を整理するなど紙面デザインについて学びました。その中でも、ターゲット層を無関心層に焦点を当て広報紙を開くきっかけをつくる、興味を引くテーマで巻頭特集を企画するといったことは印象深く工夫が必要であり、今後の編集に生かしていきたいと感じたところです。

次に、議会報編集特別委員会への行政視察研修の受入れを2件行ったので御報告いたします。

1件目は、11月7日、佐賀県みやき町議会広報編集委員会様より7名が来町されました。みやき町の皆さんは非常に意欲的であり、充実した意見交換ができたと思います。

2件目は、翌11月8日、群馬県高崎市広報委員会様より10名が来町されました。高崎市広報委員会様は、ほぼ事務局が作成している現状からの改革を行うべく、我々の議員自らが作成する内容を学びに来られ、まず、一般質問をした議員が原稿を作成することから始めたいとのことでした。

こうして意見交換をすることで、我々も学び、気づきを得ることができ、視察研修の必要性を改めて実感したところです。今後とも、親しまれ読まれる議会だよりづくりを行うべく、研さんを重ねていきたいと思います。

以上、甚だ簡単ではございますが、議会報編集特別委員会の御報告とさせていただきます。

○議長（工藤 健次君） 次に、議会運営委員会委員長 森昭人君。森昭人君。

○議会運営委員長（森 昭人君） 議会運営委員でございます。ちょっと長くなりますけれども、議会運営全般に係ることですので、御容赦いただきたいと思っております。

議会運営委員会は閉会中の、去る11月9日、10日の両日、それぞれ愛知県東海市議会、三重県四日市市議会へ、主に議会運営の活性化について視察研修を行いましたので、その概要を御報告いたします。

東海市は中部圏最大の鉄鋼基地を要する臨海工業地帯を形成している一方、県内有数の生産地を誇る洋ランや全国有数のフキの産地として都市近郊農業が盛んであり、令和5年4月現在、人口11万3千人超、面積は43平方キロメートル、令和5年の一般会計当初予算は561億円、令和4年度決算では経常収支比率82.5%、財政力指数1.26、自主財源比率66.2%の不交付団体であります。

議員数は22名で5つの会派を有し、議会運営委員会と所管3つの常任委員会で構成をしています。

平成25年9月に公布施行された東海市議会基本条例が制定から5年を経過した平成30年、本条の目的達成状況について検証を行う必要があるという当時の議長の要請を受け、協議の末、議会基本条例検証特別委員会の設置が決定し、基本条例の検証を実施しています。

本特別委員会では2つの分科会を設置し、分科会ごとに基本条例の条文を割当てそれぞれが協議の上、検証シートを作成し本特別委員会に報告、本特別委員会で審査の上、議員全員の意識共有を図り、検証結果を協議していくということです。

また、議会基本条例制定から1回目の検証まではこの5年間、以降10年間隔での検証とし、検証完了から次の検証開始までの期間は、この検証結果の協議に基づいて、議会基本条例の新たな取組などを具体化した議会改革推進計画を別途策定し、改革を推進、議会基本条例の目的達成に向けて継続的に協議をしていくことで、議会改革の取組を強化していくということでもあります。

日出町議会の基本条例は平成28年1月に施行され、まもなく丸8年。現在、当然、条例の基本理念を認識しつつ議会運営がなされているものの、基本条例の存在意識は薄れ、各条項に結びつけた活動には至っておらず、絵に描いた餅状態であることは否めないと考えております。

施行10年を迎えようとしている中、住民の意思、社会情勢の変化を踏まえ、いま一度原点から基本条例を見直す必要があり、また、日出町議会基本条例の前文である議会はたゆまず改革を推進するとともに、議員は自己研さんと資質の向上に努めなければならないと規定しているように、議会の担うべき各機能をさらに強化し、町民福祉の向上と町の健全な発展を実現しなければならないと考えております。

次に、三重県四日市。四日市は県庁所在地の津市をしのぐ人口31万人、面積は207平方キロメートル。臨海部の四日市港に四日市コンビナートが立地する工業都市、現在、施行時特例市、保健所政令市であり中核市を目指しているとのことでもあります。

令和5年度の当初予算は一般会計、もう桁が違いますが1,299億円、特別会計などを合わ

せると予算総額は2,850億円ということであります。経常収支比率は78.2%、財政力指数1.208、自主財源比率62.9%、こちらも不交付団体であります。

議員定数は6会派34人、委員会は、議会運営委員会及び4つの所管常任委員会並びに予算常任委員会、決算常任委員会の6つの常任委員会で構成され、平成23年5月には議会基本条例を制定し、通年議会を実施、市民との情報共有、市民参加の推進、議会間討議の活性化の基本方針を3本柱とし、活発な議会運営を実施しています。

議会基本条例に規定している注目すべき項目として、まず、第1点目、質問趣旨の確認にとどまらず、議員の考え方や対案の提示を求める反論も含まれる執行部の反問権を実施しています。2点目、日出町議会という閉会中に、議長を経由して公式文書により執行部に対して質問を行うことができる文書質問制度。3点目、執行部は、本会議及び委員会において、付された附帯決議を尊重するという観点から、当該附帯決議に関する事後の状況・対応を議会に報告しなければならないとする附帯決議の取扱い。4点目、議会意見の反映として執行部は、予算案や各種政策の策定に当たり、議員間討議により集約された提言や意見を、政策や予算に可能な限り反映すること。この4点については、日出町議会でも取り組むことができる議会運営として、今後何らかの形で協議すべきであると考えております。

最後に、四日市市議会の予算審議の取組であります。平成15年度から平成17年度の間は、予算特別委員会が設置され、それまで各常任委員会に分割付託していた当初予算議案を一括付託して審議。

平成18年度には所管する常任委員会に分割付託、さらに平成19年、20年度は、また、一括付託での審議に戻すなど様々な変遷を遂げまして、平成21年度からは予算特別委員会から予算常任委員会へ移行。予算常任委員会では、ほか4つの常任委員会の所管ごとに4分科会が設置され、各分科会は所管する案件の可否判断まで行っています。

また、附帯決議に付すべきもの、修正すべきもの、複数の分科会に係る事項は予算常任委員会の全体会に送り、全体会で審査の上、可否を判断する体制を確立しています。

また、決算特別委員会も常任委員会へと移行し、予算常任委員会と同様の体制で審査をしますが、8月定例会、これ日出町でいう9月定例会ですけども、8月定例会の決算審査を基に、市長に対して次年度予算編成に向けた提言を行います。その後、翌年2月定例会、これ3月定例会のことですけども、翌年の2月定例会の当初予算審査において、この出された提言の内容が予算に反映されているか確認をしつつ、当初予算を審査することになっているということであります。

日出町でも予算分科会を設置しておりますが、これまでフル稼働していないのが現状であります。今後、日出町議会基本条例施行10年を前に、この四日市市の議会運営を参考に、予算決算

審査を次年度予算に反映させる体制づくり、そのほかについて検討していく必要が十分にあるのではないかというふうに考えております。

詳細につきましては、Side Books 行政視察報告書を一生懸命作りましたので、ぜひ御覧になっていただきたいと思っております。

以上で報告を終わります。

質疑・討論・採決

○議長（工藤 健次君） 以上で、委員長報告を終わります。

これより委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 健次君） なければ、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 健次君） なければ、これで討論を終わります。

お諮りします。ただいま報告のありました各常任委員会及び特別委員会における審査及び調査の件は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 健次君） 異議なしと認めます。したがって、各常任委員会及び特別委員会における審査及び調査等の件は、委員長の報告のとおり決定しました。

日程第 6. 議案第 6 5 号

日程第 7. 議案第 6 6 号

日程第 8. 議案第 6 7 号

日程第 9. 議案第 6 8 号

日程第 1 0. 議案第 6 9 号

日程第 1 1. 議案第 7 0 号

日程第 1 2. 議案第 7 1 号

日程第 1 3. 議案第 7 2 号

日程第 1 4. 議案第 7 3 号

日程第 1 5. 議案第 7 4 号

日程第 1 6. 同意第 1 1 号

提案理由の説明

○議長（工藤 健次君） 日程第6、議案第65号令和5年度日出町一般会計補正予算（第5号）についてから、日程第16、同意第11号日出町固定資産評価審査委員会委員の選任についてまでの議案10件、同意1件を一括して上程し、議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。町長、本田博文君。町長。

○町長（本田 博文君） 提案理由の御説明を申し上げます。

本定例会に御提案申し上げますのは、議案10件、同意1件であります。以下、順次その概要を御説明申し上げます。

まず、議案第65号令和5年度日出町一般会計補正予算（第5号）についてであります。

補正をいたします額は、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ2億6,206万1千円を追加し、補正後の予算の総額を129億2,340万8千円とするものであります。

歳出予算の主な内容につきまして御説明申し上げます。

総務費では、ふるさと寄附金事業における報償費等を計上しております。

民生費では、保育所、認定こども園等に対する施設型給付費等を計上しております。

衛生費では、高校生までの子ども医療費支払委託料等を計上しております。

農林水産業費では、真那井漁港しゅんせつ工事に係る設計委託料等を計上しております。

土木費では、急傾斜地崩壊対策事業に係る県営事業負担金等を計上しております。

教育費では、学校施設の光熱水費等を計上しております。

諸支出金では、まちづくり基金積立金を計上しております。

歳入予算につきましては、ふるさと寄附金のほか、国県支出金、町債等を計上し、財政調整基金繰入金にて財源調整しております。

また、繰越明許費として、戸籍住民基本台帳費など5事業を計上しております。

次に、議案第66号令和5年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）につきましては、保険税還付金等を計上しております。

次に、議案第67号令和5年度日出町介護保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、保険給付費、地域支援事業費等を計上しております。

次に、議案第68号令和5年度日出町水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、既決予算額に変更はなく、予算の組替えを行うものでございます。

次に、議案第69号令和5年度日出町下水道事業会計補正予算（第2号）につきましては、既決予算額に変更はなく、予算の組替えを行うものでございます。

次に、議案第70号日出町職員の給与に関する条例等の一部改正についてであります。

令和5年人事院勧告及び大分県人事院会勧告に基づき、県の給与改定等の事情を考慮して、職員等の給与等を改定するため、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第71号日出町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてであります。

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部改正に伴い、国民健康保険税における産前産後期間に係る被保険者所得割額及び均等割額の減額措置を導入するため、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第72号日出町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正についてであります。

日出町重度心身障害者医療費等の助成において、公金受取口座を利用できるようにするため、所要の改正を行うものです。

次に、議案第73号日出町コミュニティバス条例を廃止する条例についてであります。

これまでは、自家用有償旅客運送にてコミュニティバスを運行していましたが、一般乗合旅客自動車運送事業での運行形態となったことに伴い、当該条例を廃止するものであります。

次に、議案第74号公共下水道事業から生じる脱水汚泥の処理に係る事務の委託についてであります。

公共下水道事業から生じる脱水汚泥の処理に係る事務を大分市に委託したいので、議会の議決を求めるものであります。

最後に、同意第11号日出町固定資産評価審査委員会委員の任命についてであります。

現在、同委員に就任いただいております岩洋海氏の任期が令和5年12月25日をもって満了することに伴い、八坂司氏を新たに任命したいので、議会の同意を求めるものであります。

以上、甚だ簡単ではありますが、本定例会に御提案申し上げます議案につきまして、御説明申し上げます。何とぞ慎重な御審議を賜りまして、御賛同くださいますようお願い申し上げます。

○議長（工藤 健次君） 提案理由の説明が終わりました。

散会の宣告

○議長（工藤 健次君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 健次君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれにて散会することに決定しました。

本日はこれで散会します。御苦労さまでした。

午前11時17分散会
